

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



ザクロ（ザクロ科）

ペルシャからインド北西部の地方が原産地で、平安時代に渡来。果実の頂にはがくが残り、熟すと果皮が割れて種子が見える。漢名は「石榴」。果皮は「石榴皮（せきりゅうひ）」という生薬として使い、タンニンを多く含むことから止瀉薬として用います。樹皮には駆虫作用があるアルカロイドのイソペレチエリンを含みますが、副作用が強く、現在は使用されません。種子には女性ホルモン様作用を持つプニカ酸を含み、更年期障害を対象とした健康食品としても使用されています。

2017年
6月15日
第13号



ノカンゾウ（ユリ科）

園内の温室の裏（山崎川方面）にあざやかな橙赤色の花が群生し、先端に一重咲きの一日花をつけています。変種のヤブカンゾウは八重咲きなので見分けはつきやすいです。根および花の蕾を薬用として、根は利尿や不眠症の改善に、つぼみは解熱を目的に使用されます。中国産の変種、ホンカンゾウの花蕾は、金針菜という食材として用いています。「カンゾウ」という名前ですが、生薬の「カンゾウ（甘草）」とは無関係です。

**今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！**

薬草園ボランティアグループ

